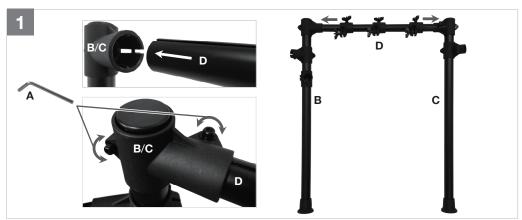


BURST KIT

DM6
DRUM MODULE

ユーザーガイド

ALESIS® BURST KIT 組み立

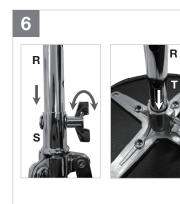




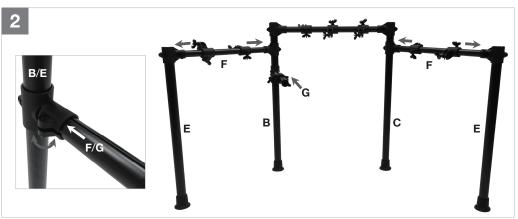


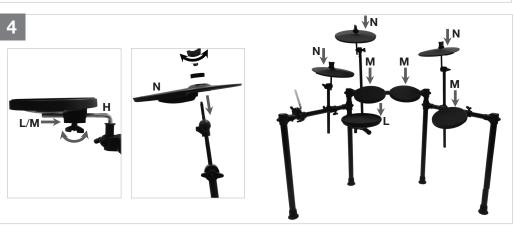


KICK TYPEスイッチは、 SWITCH 側にセットします。



てガイド

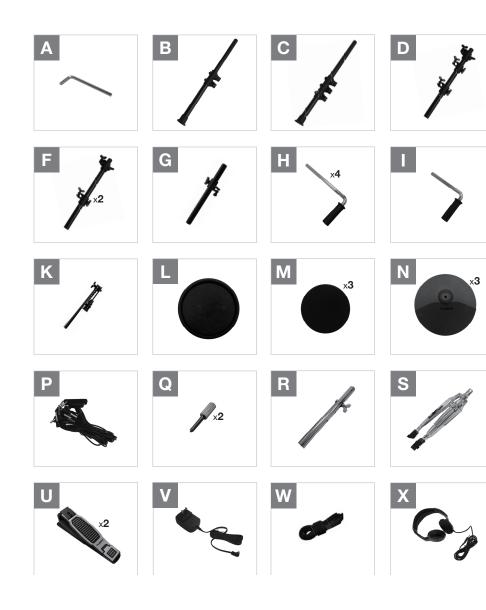








ALESIS® BURST KIT 同梱



品リスト





P: スネークケーブルを使用して、ドラムパッドとシンバルパッドを DM6 モジュールに接続します。









安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

∕╮ このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。

このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。

このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上 4 の注意に従ってください。



- 1. 注意事項を読んでください。
- 2. 注意事項を守ってください。
- 3. すべての警告に従ってください。
- 4. すべての注意事項に従ってください。
- 5. 水の近くで使用しないでください。
- 6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。 液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置 を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れが あるので、使用しないでください。
- 7. 取扱説明書に従って設置してください。
- 8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音 楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かな いでください。
- 9. 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用し てください。アース端子付の電源プラグは、2つ のブレードのほかに棒状のアース端子が付いてい ます。これは、安全のためのものです。ご利用の コンセント差込口の形状に合わないときは、専門 の業者にコンセントの取り替えを依頼してくださ いっ
- 10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないよ うに注意してください。特にプラグ部、コンセント 差込口、本装置の出力部分に注意してください。
- 11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用し てください。
- 12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テー ブルに載せて使用してください。設置の際、ケー ブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の 原因にならないよう注意してください。

- 13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、 プラグを抜いてください。
- 14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口 にお問い合わせください。電源コードやプラグが 損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物 を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらさ れたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、 修理が必要となります。
- 15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生します ので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通し の良い場所でご利用ください。
- 16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピー カーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる 恐れがあります(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、 専門の医師にご相談ください)。
- 17. 水がかかるような場所に置かないでください。花 瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入った ものを本装置の上に置かないでください。
- 18. 警告:火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさ ないでください。

[WEB] http://alesis.jp/

ALESIS <お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社 カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6階 http://alesis.jp/support/



ユーザガイド

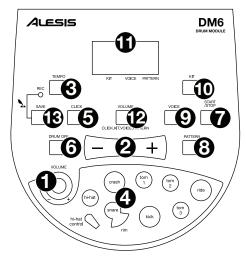
サポート

製品の最新情報(システム要件や互換性など)につきましては、製品ページをご覧ください。 http://alesis.jp/burst-kit/

Alesis 製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。 http://alesis.jp/support/

機能

トップパネル



- 1. **VOLUME:** このノブで、音源モジュールのマスター・ボリュームを調整します。
- 2. バリュー +/-: これらのボタンで、各パラメーターの値を上下します。
- 3. **TEMPO**:このボタンで、テンポの調整モードに入ります。
- 4. **パッド・インジケーター:**ここに、現在叩いたパッドを表示します。
- 5. **CLICK:**このボタンで、メトロノームのオン / オフを切り替えます。
- 6. **DRUM OFF**: このボタンで、ソング(パターン・プレイ)のドラムパートのオン / オフを切り替えます。
- 7. START/STOP: このボタンで、現在選択されているパターンの再生と停止を切り替えます。
- 8. PATTERN: このボタンで、パターン・モードに入り、パターンと MIDI 出力のフォーマットを選択します。
- 9. **VOICE**:このボタンで、ボイス・セレクト・モードに入ります。
- 10. **KIT**:このボタンで、キット・セレクト・モードに入ります。
- 11. ディスプレイ: ここに、キットやボイス、パターンなどのパラメーターを表示します。

- 12. **VOLUME:** このボタンで、ボリューム調整モードに入り、キットやボイス、パターン、メトロノームのボリュームを調整します。
- 13. **SAVE / REC**: このボタンを 1 回押すと現在選択されているキットを、ユーザー・キットへ保存します。 このボタンを長押しすると、レコード・モードに入ります。

リアパネル



- 1. 電源コネクター: 付属の電源アダプターを接続します。
- 2. POWER ON/OFF: このスイッチで、本体の電源のオン / オフを切り替えます。 注意: ドラムモジュールは、30 分間何も操作しないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能が搭載されています。この機能が必要ない場合、START/STOP ボタンを押しながら本体の電源を入れてください。オートパワーオフ機能が無効になります。
- 3. PHONES: お手持ちのヘッドホンのステレオミニジャックケーブルを接続します。
- 4. OUTPUT: このステレオミニ端子から、外部のアンプやスピーカーに接続します。
- 5. MIX IN: このステレオミニ端子に、外部の CD プレーヤーや、オーディオ・プレーヤーなどを接続し、外部プレーヤーの音を入力します。
- 6. USB: 別売の USB ケーブルを使用して、コンピューターや他の USB デバイスと接続します。
- 7. KICK TYPE: お使いのキック・ペダルの種類によって、このスイッチを切り替えます。BURST KIT 付属のペダルをご使用の場合は、「SWITCH」を選択します。
- 8. トリガー入力コネクター:ここに、付属のスネーク・ケーブルを取り付け、各パッドやペダルなどと接続します。巻頭の組み立てガイドをご参照ください。



操作

MIDI / USB

この DM6 モジュールは音源を内蔵してます。しかし、コンピューターの USB ポートに接続することにより、パッドやペダルからの信号(トリガー信号)を MIDI 信号に変換し、コンピューター上の MIDI ソフトウエアに送信することができます。 BURST KIT をプレイして、 DM6 モジュール内蔵の音源ではなく、コンピューターにインストールされているドラム音源ソフトウエアを音源として鳴らすことができるようになります。 DM6 モジュールをこのようにトリガー信号を MIDI 信号に変換させるために、以下の通り、適切な MIDI 出力フォーマットを設定する必要があります。

MIDI 出力フォーマット

DM6 モジュールは、「インターナル・フォーマット(初期状態)」と「GM フォーマット」の、 2つの異なる MIDIフォーマットを選択できます。インターナル・フォーマットは、DM6 モジュールをドラム音源としてプレイする場合に使用します。 このフォーマットでは、USB を通じて「プログラム・チェンジ」 および「ノート・オン / オフ」情報が送信されます。 初期状態では、このフォーマットになっています。





DM6 モジュールをコンピューターと接続して、BURST KIT を叩いて、コンピューター内の ドラム音源ソフトウエアを鳴らす場合は、GM フォーマットを使用します。DM6 モジュールは、BURST KIT からのトリガー信号を MIDI 信号に変換し、お好みのドラム音源ソフトウエアの音色を鳴らすために機能します。このフォーマットでは「ノート・オン / オフ」情報だけが送信され、メトロノームや伴奏パターンのサウンドは送信されません。

MIDI 出力フォーマットを選択するには:

- 1. PATTERN ボタンを押してパターン・セレクト・モードに入ります。
- VALUE +/-ボタンで、「P-N」(インターナル・フォーマット、初期状態) または「--N」(GM フォーマット)を選択します。

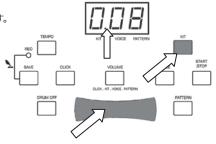
キット

キットの選択

DM6 モジュールは、使用するドラムキットを、10 種類のプリセット・キット(001 \sim 010)と5 種類のユーザー・キット(011 \sim 015)から選択できます。

キットを選択するには:

- 1. **KIT** ボタンを押してキット・セレクト・モードに入ります。 現在のキットの番号はディスプレイに表示されます。
- 2. **VALUE +/-**ボタンでキットを選択します。
- 3. キットのボリューム(マスター・ボリューム・レベルと は異なります)を調節するには、VOLUME ボタンを 押してボリューム調整モードに入ります。ディスプレイ に現在のキットのボリュームが表示されますので、VALUE +/ーボタンで調節します。
- 4. ボリュームの調整を終了するときは **KIT** ボタンを押すか、別のボタンを押します。

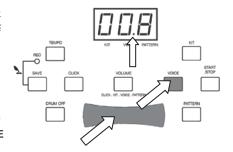


音色の選択

DM6 モジュールは 108 種類の音色を内蔵し、各パッドにアサインできます。

音色を選択するには:

- VOICE ボタンを押してボイス・セレクト・モードに 入ります。ディスプレイにボイス・ナンバーが表示さ れます。
- 2. **VALUE +/-**ボタンで音色を選択します。
- 3. 音色のボリューム(マスター・ボリューム・レベル とは異なります)を調節するには、VOLUME ボタ ンを押して、ボリューム調整モードに入ります。ディ スプレイにボリュームが表示されますので、VALUE +/-ボタンで調節します。
- 4. ボリュームの調整を終了するときは **KIT** ボタンを押すか、別のボタンを押します。

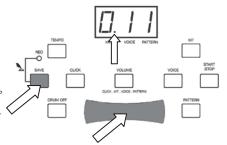


キットの保存

カスタマイズしたドラムキットは、11 \sim 15 のキット・ナンバーに保存できます。1 \sim 10 のキットに上書き保存はできません。

キットを保存するには:

- SAVE ボタンを押してキット・セーブ・モードに入ります。ディスプレイに現在選択されているキットのナンバーが表示されます。
- VALUE +/-ボタンで、保存先のキットのキット・ ナンバー (11~15 の内、いずれか)を選択します。
- 3. 保存先のキット・ナンバーを選択したら **SAVE** ボタンを押して保存します。





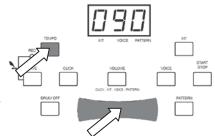
メトロノーム

DM6 モジュールはメトロノームを内蔵しています。メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム、メトロノーム自体の音色は、以下の手順で変更することができます。

テンポの調整

テンポの調整をするには:

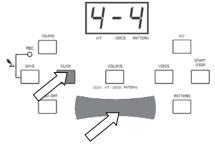
- 1. パターンを選びます (**パターン**の項目をご参照ください)。
- TEMPO ボタンを押してテンポ調整モードに入ります。ディスプレイには、現在のテンポが表示されます。メトロノームのテンポは、30~280BPM の範囲で設定可能です。
- 3. VALUE +/-ボタンでお好みのテンポに調整します。VALUE ボタンの+と-を同時に押すと初期設定のテンポに戻ります。



拍子の調整

メトロノームの拍子の調整をするには:

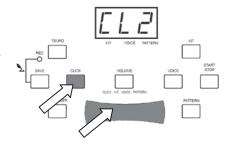
- CLICK ボタンを押してメトロノーム機能をオンにします。ディスプレイには、現在の拍子が表示されます。 拍子は、1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8 の 9 種類から選択できます。
- 2. **VALUE +/**ーボタンでお好みの拍子を選択します。 **注意**: CLICK のインジケーターは、メトロノーム機能の オン / オフに関わらず、選択しているパターンに合わせて 点滅します。



メトロノームの音色の選択

メトロノームの音色の調整をするには:

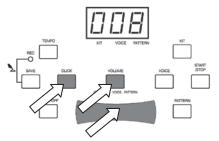
- CLICK ボタンを押しながら VALUE +/-ボタンを 押します。メトロノームの音色は、「CL1」「CL2」 「CL3」「CL4」の4種類から選べます。
- 2. **VALUE +/-**ボタンを押して、メトロノームの音色 を選びます。



メトロノームの音量調整

メトロノームの音量を調整するには:

- CLICK ボタンを押してメトロノーム機能をオンにします。ディスプレイには、現在選択されている拍子が表示されます。
- 2. **VOLUME** ボタンを押し、ディスプレイに、現在の 音量レベルを表示させます。
- 3. **VALUE +/**–ボタンを押して、お好みの音量に調整します。
- 4. 音量の調整が終了したら、もう一度 **CLICK** ボタン を押します。

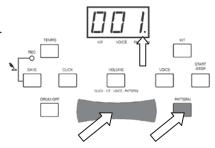


パターン

DM6 モジュールは、プリセット・パターン 40 種類と 1 つのユーザー・パターンを内蔵しています。

パターンを選択するには:

- 1. **PATTERN** ボタンを押してパターン・モードに入ります。ディスプレイには、現在選択しているパターン・ナンバーが表示されます。
- VALUE +/-ボタンを押して、お好みのパターンを 選択します。パターン「41」は空のパターンです。 「N-P」と表示されます。
- START/STOP ボタンを押して、パターンを再生 (または停止) させます。パターン再生時は CLICK ボタンが点滅し、発音しているパッド・インジケー ターが点灯します(これらはドラムの練習に効果的 です)。



- 4. パターンの音量調整(マスター・ボリューム・レベルとは異なります)は、**VOLUME** ボタンを押して ボリューム調整モードに入ります。ディスプレイには現在のボリュームが表示されますので、**VALUE +/**ー ボタンでお好みのボリュームに調整します。
- 5. パターンのテンポを調整するには、TEMPO ボタンを押してテンポ調整モードに入ります。ディスプレイには現在のテンポが表示されますので、VALUE +/ーボタンでお好みのテンポに調整します(30~280BPM の範囲で設定可能)。VALUE ボタンの+と-を同時に押すと初期設定のテンポに戻ります。
- 6. 設定が終了したら、PATTERN ボタンを押すか、他のボタンを押してください。

注意:パターンと MIDI IN (USB 接続時) は、同じ 16 の MIDI チャンネルを使用します。これらはパターンの再生に影響するかもしれません。動作に問題が生じる場合は、電源を入れ直してください。

注意:録音待機モード時、ディスプレイには、パターンのボリュームを表示しますが変更はできません。

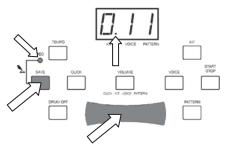


録音

録音待機モード

SAVE/REC ボタンを数秒押し続けて、録音可能なユーザー・パターンを表示します。ディスプレイには、キット・ナンバーが表示され、REC インジケーターが点滅します。

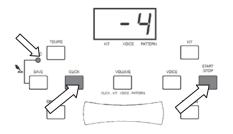
このモードでは、パターンのテンポ、キット・ナンバーを調整できます。また、ドラム・パートをミュートしたり (DRUM OFF の項目を参照)、メトロノーム機能のオン/オフを切り替えることもできます。パターンが選ばれていない場合、メトロノームの拍子が反映されます。一方で、パターンが選択されている場合、パターンには既に拍子が設定されているため、選択されている拍子は反映されません。



録音モード

ユーザー・パターン・ナンバー「41」へ録音するには:

- 1. **SAVE/REC** ボタンを数秒押し続けて、録音待機 モードに入ります。
- 2. パッドを叩くか、START/STOP ボタンを押すと、 REC インジケーターが点滅し、ディスプレイには、 4 からカウント・ダウン表示が始まります。
- 3. プレイを録音します。ディスプレイには小節数が表示されます。
- 4. 終了時には START/STOP ボタンを押します。録音できる容量は約 5,000 ノートで、それに達してしまった場合は、ディスプレイに FUL と表示されます。その場合は、START/STOP ボタンを押してパターン選択モードに戻ります。

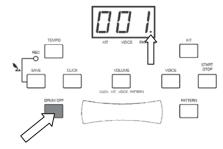


パターンにプレイを録音をすると、以前に録音したプレイは消去されます。また、録音中に DM6 モジュールの パラメーターを変更することはできません。録音を停止し、パターン選択モードに戻るには、START/STOP ボタンを押します。

注意:録音する前や録音中に、メトロノーム機能のオン / オフを切り替えるには、CLICK ボタンを押します。 メトロノーム機能がオンの場合でも、メトロノームのサウンドが録音されてしまうことはありません。

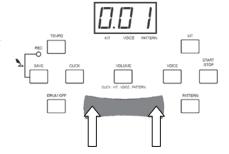
DRUM OFF

DRUM OFF ボタンを押すことにより、バターン内のドラムサウンドのみをミュート (消音) できます。この機能は練習時に役立つ機能です。DRUM OFF インジケーターが点灯し、DRUM OFF 状態であることを表示しますが、パッドやシンバル、ペダルを使っての演奏は、そのまま続けられます。DRUM OFF を解除する場合は、もう一度 DRUM OFF ボタンを押します。DRUM OFF インジケーターは消灯します。



ファクトリー・リセット(工場出荷時の状態に戻す)

DM6 モジュールを。工場出荷時にリセットするには、電源を切った状態で、VALUE +ボタンと VALUE -ボタンを同時に押しながら電源を入れます。すべての録音データや変更したセッティング、ユーザーキット、ユーザーパターン、音量やメトロノームの設定など、すべてが工場出荷時の状態にリセットされます。



オートパワーオフ

DM6 モジュールは、30 分間何も操作しないと、自動的に電源がオフになるオートパワーオフ機能が搭載されています。もし、この機能が必要ない場合は、START/STOP ボタンを押しながらモジュールの電源を入れると、一時的にこの機能がオフになります。



付録

技術仕様

トリガー: (1) キック・パッド

(1) ハイハット・ペダル

(1) ハイハット・シンバル

(1) クラッシュ・シンバル

(1) ライド・シンバル

(1) シングル・ゾーン・スネア・パッド

(3) タム・パッド

ボイス: 108 ボイス

ドラム・キット: 10 プリセット・キット

5 ユーザー・キット

パターン: 40 プリセット・パターン

1 ユーザー・パターン

ディスプレイ: LCD ディスプレイ

接続部: (1) ヘッドホン端子

(1) USB 端子

(1) ステレオ出力端子 (ステレオミニジャック)

(1) ミックス入力端子 (ステレオミニジャック)

(1) 電源コネクター

(1) マルチ・トリガー入力・ケーブル端子

電源アダプター: AC アダプター (DC9V 500mA センタープラス、付属)

商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名、会社名、商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

無料修理規定

- 1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- 2. ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には弊社カスタマー サポート部へご相談ください。
- 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- (八) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- (二) 消耗部品を取替える場合。
- (ホ) 本書のご提示がない場合。
- (へ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4. inMusic Japanは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきinMusic Japanが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japanでのみ行われるものとします。
- * この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後 についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポートへご相談ください。

| 保証書 | |
|----------------|------|
| 製品名: | |
| | |
| 製造番号: | |
| ご購入日: | |
| 保証期間:ご購入日から一年間 | |
| | |
| お客様 | 販売店名 |
| お名前: | ご住所: |
| ご住所: | |
| お電話: | お電話: |

inMusic Japan株式会社 カスタマー・サポート 〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F お問い合わせ: http://alesis.jp/support/

- ・本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- ・本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。